

令和4年度活動報告

去る令和5年2月9日（木）、松島町文化観光交流館 アトレ・る Hall を会場に、『令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会 全体会』を開催し、協議会における各部会やネットワーク会等の活動について、以下の資料を基にご報告いたしました。

新型コロナの感染拡大の影響で3年ぶりの開催となりましたが、当事者会、家族会をはじめ、圏域内の福祉サービス事業所や支援機関、自治体関係者あわせて10名を超える参加がありました。

【目次】

| | |
|---------------------------|---------|
| 1. 地域生活支援拠点等運営プロジェクト | 資料 1-1 |
| 2. 家族等支援ネットワーク精神分会 | 資料 1-2 |
| 3. 家族等支援ネットワーク身体分会 | 資料 1-3 |
| 4. 家族等支援ネットワーク知的分会 | 資料 1-4 |
| 5. きょうだい児支援ネットワーク | 資料 1-5 |
| 6. 就労アセスメントに係る地域連携 | 資料 1-6 |
| 7. 相談支援部会 | 資料 1-7 |
| 8. 短期入所ネットワーク | 資料 1-8 |
| 9. 就労支援ネットワーク会 | 資料 1-9 |
| 10. 精神地域包括検討会 | 資料 1-10 |
| 11. 「地域生活支援拠点等事業」緊急対応事例報告 | 資料 2 |

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会

地域生活支援拠点等運営プロジェクト ダイジェスト

発行:令和5年1月

宮城東部地域自立支援協議会での検討と協議を経て、平成29年度より開始した「地域生活支援拠点等事業」について、事業実績の共有と、機能強化に向けた協議を行うプロジェクトです。令和4年度は9/1と12/15に会議を実施し、地域の課題について協議を進めました。

緊急短期入所受け皿拡大について

令和3年度の懸案を引き継ぎ、年度初めから受け皿拡大のアクションを始めました。具体的には、地域の短期入所事業所を回り、受け皿拡大の必要性についてご理解いただけるように説明し、緊急時の受け入れの検討をお願いしていました。

どの事業所からも、その時の定員の空き状況等に関わるもの、前向きなお返事をいただきました。令和5年度からの実施を目指に準備中です。

医療的ケアが必要な方への対応

これまで大切な課題と認識しつつも、具体的な方策に繋げられていないことを顧みて、課題へのアプローチを開始しました。

まずは、日常的に医療的ケアを必要とする方々の日々の困りごとを把握するための実態調査を早期に行い、少しでも課題を軽減できるようなアクションを検討しています。第2回会議の中では調査の項目等について意見交換を行ないました

緊急支援から見える課題

引き続き多くの方の緊急事態に対応できるよう、順次緊急登録作業を進め、登録者の拡大を図っています。

令和4年度は事業概要と登録の進め方について、改めて相談事業所を巡回して相談員の皆様に直接説明をさせていただきました。このことにより、緊急リスクが高まってきた方が個別ケースの相談支援の中で登録に結びついてきました。

プロジェクト会議の中では、登録の進捗についてご報告するとともに、実際に緊急支援を実施した際の取組の内容についても共有し、個別のケース支援から見えてきた課題と必要な視点を学んでいます。

プロジェクトメンバー

- * 佐藤吉永氏（太陽の子多賀城・運営委員）
 - * 菅井真悠子氏（しおーも）
- * 下山清子氏（多賀城市手をつなぐ育成会）
- * 好井まり子氏（利府町手をつなぐ親の会）
- * 吉田千恵氏 菅野勇氏（杏友園） NEW♪
- * 伊藤敏和氏（北上の郷） NEW♪

令和4年度

宮城東部地域自立支援協議会事務局

- 塩竈市（小笠原・松村）
- 多賀城市（佐藤・福士）
- * 庶務：地域拠点センターふきのとう

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会
家族等支援ネットワーク
精神分会 ダイジェスト

資料 1-2

発行元：宮城東部地域自立支援協議会 令和5年1月

各圏域の家族会へ参加・家族交流会を実施しました！

今年度は、家族同士が話せ、悩みを共有できる場に焦点をあてるにしました。

◆今年度の取り組み◆

【ニーズ】

- ・2市3町の家族を集め何か企画したい。
- ・家族会活動に支援者が関わってほしい
- ・家族同士が悩みを共有できる場が欲しい



- ①今年度も継続して各圏域の家族会に参加
- ②10月7日家族交流会開催(塩竈市公民館)



①家族会参加

- ◆各圏域の家族会に連絡を取り、今年度も引き続き参加させていただきました。



- ・ご家族の声を直接伺い、抱えている悩み、家族会の現状やニーズ等を把握することができた。
- ・自立協の参加について、継続の声が多い。



②家族交流会

- ◆2市3町のご家族、支援者
あわせて31名にご参加いただきました。

○グループ懇談会

テーマは自由。当事者と関わるうえでの悩み、家族会のこと、自立支援協議会への要望等自由に語り合った。



<交流会アンケートより>

- ・それぞれの家族、立場の話を聴けてよかったです。
- ・家族会の大切さを改めて感じた。
- ・テーマを決めずフリートークできてよかったです。
- ・次回は、親亡き後の生活をテーマに開催してほしい。
- ・今回のような他の地域の家族会との交流の機会がもっとほしい。
- ・コロナ禍であっても、交流の機会をつくってほしい。

～来年度へ向けて～

- ①圏域内の家族会へ継続して参加し、ニーズの把握や、繋がるきっかけ作りを行う。

- ②地域交流を目的とした、当事者や家族、様々な事業所を巻き込んだイベントを開催する。



精神分会メンバー

リーダー

阿部（緑ヶ丘病院）

サブリーダー

一岡（ふっとわ～く）

メンバー

安（藻塩の里）、菊地（けやき）

佐野・竹内（ふきのとう）

大野・鈴木（ふっとわ～く）

葛巻（利府町） 小笠原・松村（塩竈市）

身体分会 ダイジェスト

発行元：宮城東部地域自立支援協議会

令和5年1月

| ニーズ | ニーズに向けた今年度の取り組み |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 当事者同士の交流の場を設けたい。 当事者の実情を把握し、支援に繋げられる情報を探る。 | <p>■当事者、支援者、近隣住民などを対象に、交流会を開催する。</p> <p>■当事者団体及び支援団体からの情報収集を行い、実情の把握に努める。</p> <p>⇒ 当事者も支援者も一緒に楽しめるスポーツレクリエーションの実施。</p> |

みんなで楽しむスポーツ大会！！

～楽しい障がい者スポーツの紹介＆体験～

令和4年10月15日（土）に松島町文化観光交流館「アトレ・るホール」にてボッチャを通じた交流会を行いました。当日は、28名（当事者の方：16名、支援者：12名）が集い、何回か練習したのちに、3名一組のトーナメント戦を行い、数多くのミラクルショットが出るなど、大いに盛り上りました。

また、参加者の中には、車椅子を利用する方もいましたが、車椅子を利用する方でもプレーできる投球補助具の紹介も行われ、障害の有無に関わらず参加者全員が楽しみ、有意義なスポーツ交流会となりました。



★ボッチャとは・・・

ボールを交互に投げて点数を競うスポーツ。老若男女、障がいの有無にかかわらず、全ての人が一緒に競い合えます。
東京パラリンピック正式種目。

宮城県東部地域自立支援協議会家族等支援ネットワーク身体分会

◎リーダー：杏友園 菅野

○メンバー：地域拠点センターふきのとう 佐野・竹内
松島町社会福祉協議会 赤間・高橋
七ヶ浜町健康福祉課 佐々木・鎌田

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会 家族等支援ネットワーク

知的介会 ダイジェスト

発行:令和 5 年 1 月発行

★『知的障害を持つ方たちとそのご家族の生活に寄り添い、地域に対するご要望を自立支援協議会に吸い上げる』ことをコンセプトに活動しています。

★ただし、コロナ禍が継続する中、主にコンタクトを取っている「手をつなぐ育成会（手をつなぐ親の会）」の活動も停滞し、通常の活動を行うことができません。悩ましい日々が続いております。

塩釜地区育成会等連絡会に参加しました。

6月14日（火）と10月21日（金）に開催された連絡会に参加しました。

連絡会の開催にあたっては事前のご案内をいただき、出来る限り都合をつけて参加させていただいております。

コロナ禍において、これまで長年継続してきた各会の活動が行いにくくなっている様子をお伺いし、皆様の葛藤されているご様子を受けとめています。一刻も早く元の活動に戻れるように願ってやみません。

私たち支援者からは、自立支援協議会の様々な活動の現状についてご報告をいたしました。とりわけ平成29年度から行っている「緊急ショート事業」のことについては、重点的にご報告しています。毎回役員の皆様からたくさんのご意見をいただきながら、私たちの取り組みがまだまだ行き届いていないことを痛感しています。「全てのひとが安心して暮らし続けることのできる地域づくり」は、なかなか簡単なことではありませんが、皆様からいただいた声を頼りに、少しずつ進めていきたいと気持ちを新たにしています。

皆さまからの情報を募集します

◎ 育成会様をはじめ、地域には様々な形で障害当事者やそのご家族が助け合ったり、悩み事の共有をされていると思います。可能であれば協議会としてコンタクトを取らせていただき、お話を伺いたいと考えています。ご存知の集まりなどありましたらご紹介をお願いいたします。

地域拠点センターふきのとう

022-352-1501 (担当: 佐野)

令和4年度 知的介会メンバー

リーダー 島 知由 氏 (嶋福社会)

メンバー 菅野 裕美 氏 (ひまわり)

工藤 耕輔 氏

(太陽の子多賀城)

佐野 篤 (ふきのとう)

お世話になりました。

次年度も宜しくお願いいたします♪

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会事務局

塩竈市 障がい者支援係 : ☎ 022-364-1131

多賀城市 障害福祉係 : ☎ 022-368-1141

地域拠点センターふきのとう : ☎ 022-352-1501

保護者懇談会を今年も開催！

ダイジェスト版

【実施内容】

<日 時・参加者数>

令和4年10月18日(火) 10時～
(参加者: 9名)
11月 1日(火) 10時～
(参加者: 7名)

<場 所>

多賀城市中央公民館 3階和室

<内 容>

- ①ペアレントメンターによる育児体験談
- ②保護者同士の懇談、交流



懇談会の様子①

【参加者の声】（事後アンケートより抜粋）

- 「楽しかった。みんな頑張ってる！また頑張ろう！って思えた。」
「自分だけの悩みじゃないと思うと気が楽になりました。」
「これまでやってきたこと、ダメじゃなかったなあと思った。」
「分かってくれる人の存在は大きいなあと思った」
「この場に参加できたご縁に感謝したい」
「また、定期的に集まりたい！」などなどたくさんの声が！

きょうだい児支援ネットワーク 構成メンバー

- ・宮城県立利府支援学校
- ・多賀城市保健福祉部介護・障害福祉課
- ・多賀城市児童発達支援センター 太陽の家
- ・松島町市民福祉課
- ・N P O 法人幸創
- ・放課後等デイサービス かりん
- ・相談支援センターもりのひろば
- ・塩竈市ひまわり園（放課後等デイサービス）
- ・地域拠点センターふきのとう
- ・宮城県障害児療育支援事業 あとれ



ペアレントメンター2名による育児体験談

きょうだい児を育てる中での
理想と現実のギャップや葛藤、
独特の悩みなどを共有し合う、
貴重な機会となりました。



懇談会の様子②

※本事業は「宮城県発達障害
ペアレント・メンター事業」を活用しました。

【問い合わせ先】

地域拠点センターふきのとう
TEL: 022-352-1501

◎就労アセスメントに係る地域連携(通称:ダイレクトB)報告

『就労アセスメント』とは、働くことを希望されている方が適切な働く場を選択することを支援するため、就労面や生活面に関する情報（状況）を把握し、課題を明確にして支援に取り組むことを目的として実施するものです。

就労した経験のない方が「就労継続支援 B型事業」の利用を希望する場合、この「就労アセスメント」を実施することが必須となっているため、支援学校在校生が在学中に地域の関係機関の連携の下、アセスメント実習に取り組んでいます。この取り組みを通称「ダイレクトB」と呼んでいます。

1. 対象者

利府支援学校高等部3年生（希望者9名⇒実施者8名）

（内訳）塩竈：1、多賀城：4、松島：1、利府：2

※宮城東部地域在住で、他の支援学校高等部に在籍の方への支援要請はなし。

2. 実習先

社会福祉法人ゆうゆう舎 ゆうゆうワーク（就労移行支援事業所）

3. スケジュール

①サービス担当者会議（8月25日、8月26日、9月30日）

②アセスメント実習

*第1期：10月24日～27日（4名）

*第2期：10月31日～11月2日（4名）

③アセスメント会議

*第1期：10月28日（4名）

*第2期：11月4日（4名）

4. 来年度に向けて

○地域唯一の移行支援事業所であるゆうゆうワークが11月をもって事業廃止となつたため、令和5年度に向けては事業所探しが必要となる。

※昨年度にアセスメント実習を受け入れていただいた「チャレンジドジャパン仙台中央」を候補として考えている。

○地域の状況から実習を依頼できる事業所は仙台市に所在する事業所になる可能性が高いことから、実習を行う場所を地域内で確保できないか協議した。

⇒地域内の公共機関の会議室等を予約していただく方向で話しているが、実習の日程は学校の年間予定により決めているので、実習期間が晃間になった時点で確保できる施設を確認し、予約することとしている。

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会

相談支援部会 ダイジェスト

発行：令和5年1月

相談部会の目的

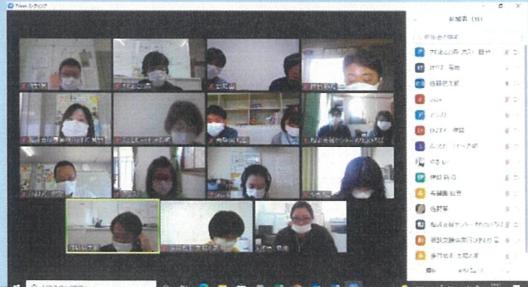
- 2市3町内相談支援事業者の
情報共有とネットワークづくり！

気心の知れた顔のわかる関係を土台にして、連携の強化（地域の相談支援体制の充実）を目指します。また活動を通して、互いの考え方や支援の方向性を共有することにより、相互に高め合う場ともなっています。

相談部会の内容

(月1回定例開催)

- 国の施策情報等の共有
- 相談支援のノウハウの共有
- 地域のサービス情報を共有
- 自立支援協議会への参画
⇒ 地域づくりのカギ！
- ケースレビューの実施



オンライン会議の様子

宮城東部地域の相談支援体制

委託相談事業所

しおーも／北上の郷（塩竈市）
けやき／太陽の家（多賀城市）
松島町社会福祉協議会（松島町）
ふっとわ～く（七ヶ浜町）
ひまわり／もりのひろば（利府町）

※「基本相談」と「計画作成」をします

計画相談事業所

梯（多賀城市）
りんく／アシスト（松島町）
地域拠点センターふきのとう（利府町）

※サービス利用計画を作成します。

基幹相談支援センター

地域拠点センターふきのとう（2市3町）
※圏域内の相談事業所との連携と共働
※より専門的で高度な相談支援の実施
※地域課題へのアプローチ

「誰もが暮らしやすい
2市3町を創造する」

令和4年度 宮城東部地域自立支援協議会

短期入所ネットワーク ダイジェスト

発行元：宮城東部地域自立支援協議会 令和5年1月

「緊急受け入れどうしてる？」

圏域内の事業所職員が情報交換を行いました！

①同事業の担当同士で顔の見える関係を作ること、②お互いの事業所の情報を共有することを目的に、今年度も短期入所事業所職員の情報交換会を開催しました。

日時：令和4年7月13日（水）10：30-12：00 場所：さわおとの森

◆お声かけした事業所◆

【短期入所】あすなろ（塩釜市）／杏友園（塩釜市）／松の実（松島町）／さわおとの森（利府町）／みんなの家（利府町）／僕の家私の家（富谷市）／わはわ大衡（大衡村）
 【拠点センター他】／ばれっと吉岡（大和町）／るーぶ大衡（大衡村）／ふきのとう

コロナ禍ではありましたが・・・

杏友園／さわおとの森／みんなの家／るーぶ大衡／ふきのとう
 よりご参加いただきました。
 （あすなろは書面にて、松の実はお電話にて情報の提供がありました）

内 容

①R4年4月に新築！短期入所さわおとの森を見学しました。



そこかしこに
木のぬくもり



吹き抜けもあり
開放的な空間でした

②情報交換・情報共有

◆疑問点を質問したり、日ごろの悩みを相談したり、ざっくばらんに情報交換をしました

Q 緊急受け入れどうしてる？どう思う？（本日のテーマ）

A・緊急事態にはできるだけ応えたいと思っている。心情的には地域に役立ちたい。

- ・情報がない人を緊急的に受け入れることは難しい。受け入れ側にはリスクしかない。しかし、知っている人なら受け入れができる可能性はある。普段からの利用がやはり大切。
- ・民間事業者がリスクを負うのなら、それに見合った収入の保証、情報提供、調整が必要。
- ・ご家族にも、日常的に緊急事態に備える意識が必要。困ってから「なんとかしてくれ」では遅い。
- ・緊急事態に日常的に備える試みとして緊急ショート登録が活用できる。緊急事態をあらかじめ想定することで、緊急事態が緊急事態ではなくなる。

圏域内外の短期入所事業の質的向上と量的・面的拡大を目指して、

令和5年度も継続してネットワーク会を行ってまいります。

宮城東部地域自立支援協議会

就労支援ネットワーク会 ダイジェスト

令和5年1月発行

令和4年12月14日(水)

3年ぶりに

就労支援ネットワーク会を開催しました！



～参加された事業所～

MKアシスト クリエイティブ笑来
ソーシャルビレッジ仙台
チョコしおがま メープルガーデン
愛さんさん宅食 愛さんさんファーム

塩竈市にある「愛さんさんグループ」の法人本部をお借りして、コロナ禍でストップをしていた就労ネットワーク会を、いよいよ再開することが出来ました！6つの事業所から10名が参加されました。

今回の主な目的は、あらためて《同じ就労支援事業を行っている人たちが「顔の見える関係」を作り、この地域の支援体制をより充実させていくこと》としました。

この数年で2市3町圏域には就労支援事業所が増えました。3年前にも参加してくれた方、今回初めて参加された方、同じ目的の事業を行う支援者同士は共通の話題(悩みも！)も多いので、「ここだけの話」も大いに盛り上りました。こうした話を受けとめ出来る事業所の枠を超えた横の繋がりを、参加してくれた皆さんが求めていたんだなと肌で感じることが出来ました。参加者アンケートには、継続しての開催を望む声が大変多く、準備をしたスタッフ一同、早速次回に向けた準備をすることにしています。

今回参加できなかった皆様も、是非次のネットワークでお会いしましょう♪

就労支援ネットワーク会準備スタッフ

| | |
|---------------|------|
| 愛さんさん塩釜事業所 | 佐藤雄悦 |
| 愛さんさんファーム | 植木香織 |
| 地域拠点センターふきのとう | 佐野 篤 |

令和4年度宮城東部地域自立支援協議会
第1回精神地域包括検討会

資料 1-10

1. 目的

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る保健・医療・福祉関係者による協議を進めるにあたり、個別事例から地域の課題を抽出すると同時に、地域アセスメントを通して地域を理解し、必要な支援を提供していくことが必要であり、地域アセスメントについて学び理解を深めることを目的とする。

2. 日時

令和4年7月27日（水）午後1時30分から

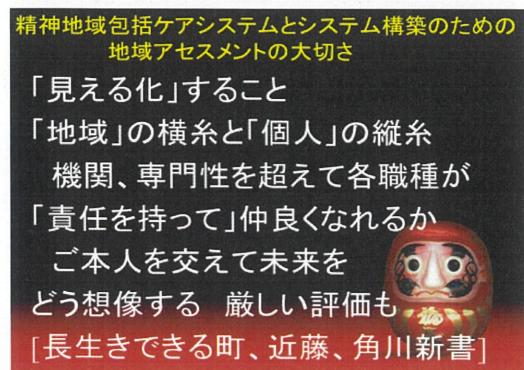
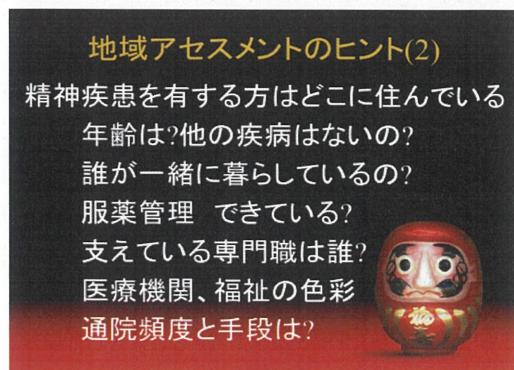
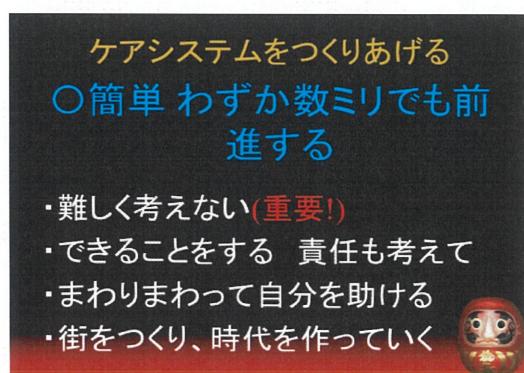
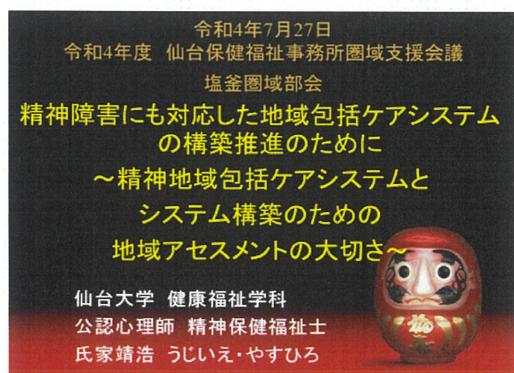
於：塩釜市公民館

3. 参加者

- (1) 宮城東部地域自立支援協議会精神包括ケア検討会メンバー
- (2) 塩釜圏域相談支援事業所
- (3) 塩釜圏域市町保健福祉担当者（精神保健担当・障がい者支援担当） 計25名

4. 内容

講演 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進のために
～精神地域包括ケアシステム構築のための地域アセスメントの大切さ～」
講師 仙台大学体育学部健康福祉学科 教授 氏家 靖浩 氏



5. アンケート調査結果

1. 開催内容について

- ・地域全体で個人を支える上で大切な姿勢を学んだ。
- ・福祉として支援していく際の大切な視点を学ぶことができた。
- ・ケース支援は「難しいと考えない」視点を改めて感じた。
- ・ユーモアや体験談を交えての話に、リラックスして聞くことができた。

2. その他（ご意見、ご感想、印象に残った言葉など）

- ・相手に心を開いてもらうには、自分自身もそのような心構えで相手に向き合っていかなければならないという言葉が印象的だった。
- ・支援するにあたり「実におもしろい」「興味深い」と思えるような対応を心がけたい。
- ・制度上の線引きをこえて、意思決定できる人間関係を築く大切さを感じた。
- ・地域見える化していく必要性を感じた。
- ・人間関係の重要性を改めて感じた。
- ・心に残る言葉がたくさんあった。

3. 今後の研修の希望があればお書き下さい。

- ・地域アセスメントについての具体的な方法や取り組み等の詳細についての研修を希望したい。

6. 検討会の様子



令和4年度「地域生活支援拠点等事業」 緊急対応事例から見えてきたこと

認定NPO法人さわおとの森
地域拠点センターふきのとう

令和5年2月9日(木) 宮城東部地域自立支援拠議会 全体会説明資料

1

【まず“一番伝えたいこと”から】

拠点事業の目的

地域生活支援拠点等とは、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制のことです。

居住支援のための主な機能は、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの5つを柱としています。

すべての方について、
緊急事態(主な介護者の不在)が起きても
慌てずに対処できる支援体制を作る

そのために、緊急事態を予め想定し、日常生活の中で備えをしていくための手立てを講じていく必要があります

2

【拠点登録(=緊急ショートステイ登録)】

→ふきのとうでは、拠点登録(=緊急ショートステイ登録)を進めています

- 主な介護者が不在となった時に緊急駆けつけ・緊急受け入れ
- 緊急受け入れ短期入所事業所はみんなの家・さわおとの森
- 夜間、土日祝日も対応 ○最大7日間

登録に至るまでに、

- ①その方(世帯)の生活上のリスクは何で、
- ②万一緊急事態に陥ったときに本人や家族や関係機関がどのように動くか、
- ③日常的にショートステイを利用できるか、
…ということを関係者で確認、共有します。

point

緊急事態(非日常)を支えるのは日常の取り組み／困ってから考えるでは手遅れ

3

【登録者数】 令和4年12月31日現在 **70件**

| 市町 | 累計 | R4新規登録者数 (内児童数) | 登録解除 |
|--------------|---------------|--------------------|--------------|
| 塩竈市 | 29(7) | 6(0) | 5(0) |
| 多賀城市 | 10(2) | 2(0) | 2(0) |
| 松島町 | 4(0) | 0(0) | 2(1) |
| 七ヶ浜町 | 10(5) | 2(0) | 2(0) |
| 利府町 | 17(4) | 4(1) | 3(0) |
| 計(児童) | 70(18) | 14(1) | 14(1) |

4

【緊急支援実績数】

令和4年度(4月1日～12月31日)

- 合計受入回数 14回
- 延べ日数 50日
- 支援対象者 11名(うち未登録者2名)

5

【令和4年度 緊急対応事例一覧①】

| ケース | 登録 | 日数 | 概要 |
|-----|----|----|-------------------------|
| Aさん | 未 | 1日 | 主な介護者の怪我 |
| Bさん | 未 | 2日 | 本人SS利用中に帰省した親族がコロナ陽性となる |
| Cさん | 登録 | 3日 | 家族の緊急入院に主な介護者が付き添った★ |
| Cさん | 登録 | 3日 | 家族の緊急手術に主な介護者が付き添った★ |
| Dさん | 登録 | 7日 | DVによる一時的避難★ |
| Eさん | 登録 | 7日 | 主な介護者(ひとり親)の怪我★ |
| Fさん | 登録 | 2日 | 家族の入院に主な介護者が付き添った★ |

6

【令和4年度 緊急対応事例一覧②】

| ケース | 登録 | 日数 | 概要 |
|-----|----|----|-------------------------|
| Gさん | 登録 | 1日 | 主な介護者が法事出席、日中事業所がコロナで閉所 |
| Hさん | 登録 | 2日 | ひとり親家庭、主な介護者が入院★ |
| Cさん | 登録 | 3日 | 家族が逝去、主な介護者が喪主★ |
| Iさん | 登録 | 6日 | 主な介護者(ひとり親・持病あり)が入院★ |
| Jさん | 登録 | 5日 | 主な介護者(ひとり親・持病あり)が入院★ |
| Iさん | 登録 | 7日 | 主な介護者(ひとり親・持病あり)が入院★ |
| Kさん | 登録 | 1日 | 主な介護者が法事出席、受入れ事業所見つからず★ |

7

【事例一覧から読み取れること】

14件中11件(★)が予め想定していた緊急事態だった

=リスクが高いと見込んでいた家族の入院や葬祭等により主な介護者が不在となつた



事前に想定した通りに緊急ショートステイ利用

=慌てなくて済んだ！(拠点事業の目的)

緊急事態を想定して、その時がきたときに慌てなくて済む手立てを講じておく、ということがとてもとても大事

point

緊急事態(非日常)を支えるのは日常の取り組み

8

【過去の事例から】

主な介護者の母が軽度脳梗塞で入院となった。母の入院は長引きそう。

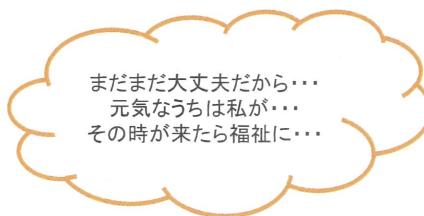
⇒これまで母のみが介護をしてきたことが判明。残されたのは介護の必要な障害を持ったお子さんと家族。

⇒母が退院しても継続して介護を担うことは医師に止められている。

⇒家族は本人のケアを学ぶ気持ちはあるが、なにせ未経験、、、

⇒母は無事退院したが、直後に父も入院となり、、、

⇒最終的に無縁のグループホームに入居することとなってしまった。



緊急事態を想定して、その時がきたときに慌てなくて済む手立てを講じておく、ということがとてもとても大事

point

困ってから考えるでは手遅れ

9

【再度“一番伝えたいこと”】

おさらい

拠点事業の目的

すべての方について、
緊急事態(主な介護者の不在)が起きても
慌てずに対処できる支援体制を作る

そのために、緊急事態を予め想定し、日常生活の中で備えをしていくための手立てを講じていく必要があります

10

【拠点登録(=緊急ショートステイ登録)】

おさらい

→ふきのとうでは、拠点登録(緊急ショートステイ登録)を進めています

- 主な介護者が不在となった時に緊急駆けつけ・緊急受け入れ
- 緊急受け入れ短期入所事業所はみんなの家・さわおとの森
- 夜間、土日祝日も対応 ○最大7日間

登録に至るまでに、

- ①その方(世帯)の生活上のリスクは何で、
- ②万一緊急事態に陥ったときに本人や家族や関係機関がどのように動くか、
- ③日常的にショートステイを利用できるか、
…ということを関係者で確認、共有します。

point

緊急事態(非日常)を支えるのは日常の取り組み／困ってから考えるでは手遅れ

11

【お聴きくださった皆様へ～地域みんなで備えましょう～】

○ご家族の皆様へ

⇒(必ずしもすべての方に登録が必要というわけではないですが…)

さっそく日常の取り組みから緊急事態に備えていただきたいです。

周りに心配な方がいらっしゃったら教えてあげていただきたいです。

○支援者の皆様へ

⇒緊急リスクの高い方や気になる方がいらっしゃったら、

その方への情報提供とふきのとうへの情報発信をお願いしたいです。

令和4年度「地域生活支援拠点等事業」緊急対応事例から見えてきたこと

ご清聴ありがとうございました

12